オミクロンの背後に邪悪な隠れたアジェンダ！

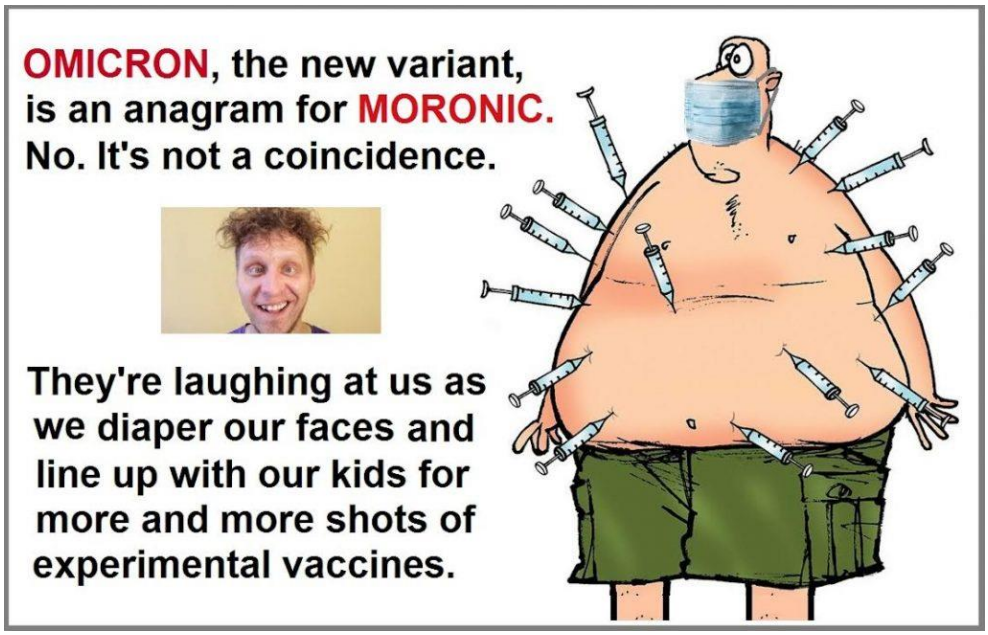
State of the Nation
November 29, 2021

https://stateofthenation.co/?p=98550

OMICRON: 明らかなペテン、かつ地球的心理作戦

高度に組織化され、準備された Covid プランデミックを企むとしたら、一連の、決して終わらない COVID-19 変異種（株、突然変異）を次々に創り出すことほど、うまい方法があるだろうか？

次に提供するのは、非常に説得力ある絵によって説明された「オミクロン」の地球的な心理作戦である。



（新しい変異種 OMICRON は、MORONIC=〈薄のろの〉のアナグラムである。いいえ、これは偶然の一致ではない。彼らは、我々が自分の顔におむつをし、子どもたちと一緒に、もっとたくさんの実験的ワクチンをしてもらおうと、並んでいるのを見て、笑っている。）

キーポイント：OMICRON（“Nu” Variant、PANGO lineage B.1.1.529 とも呼ばれる）のような、新しい COVID-19 生物兵器を開発するときには、常に、その背後に複数の目的がある。しかし、この祝日シーズンには、NWO グローバリスト犯罪者たちの心の中を、特に支配している一つのものがある。彼らは、急速に増加する死者、病気の患者、入院者、それに深刻な傷害者について、**武器化された COVID ワクチンによって、直接、引き起こされるもの**の、もっともらしい理由を必要としている。（ビデオを参照せよ：https://stateofthenation.co/?p=98725）

事ここに至れば、**COVID-19 作戦**にも、**Covid スーパーワクチン計画**にも、明確な目標があることを疑うことはできないだろう。

最初、彼らは COVID-19 生物兵器をばら撒き、これに SARS-CoV-2 という偽名を付けた＊。それから彼らは、この念を入れてバイオ操作した兵器に、念入りに兵器化した Covid ワクチンの、さまざまな世代を上乗せした。

＊SARS-CoV-2 はコロナウィルスではなく、ウィルスでさえない。その理由は、それが微生物学的研分析によっても、死後検査によっても、決してその存在を証明されたことがないからであり、またその存在は、コッホの原則によって決められた、厳しい規定にも合わないからである。COVID-19 生物兵器は、実は、実験室で製造された合成パラサイトである。それは、高度に有害で日和見的な病原性バクテリアと協同して働き、特に呼吸器システムに感染させる。

ポイントの急所は何か？

OMICRON は単に、高度に複雑な COVID-19 生物兵器の、最新の変異種にすぎない。それは人間を新しい変種によって永久に悩ませるように、生体内変異を起こすようバイオ操作されたものである。

だからどうなのだ？！

伝染する病気は、1918 年のスペイン風邪パンデミックに遡り、あらゆる個別の名前のついたインフルエンザを含めて、自然の、また計画された変異の、両方による同じような進化を経過してきた。

しかし、医学的権威や政府高官が我々に言わないことは、それぞれの継続する変異種の世代は、常に、その病気とつながる症候のセットが、被害を弱め、衰えていくにつれて、厳しい病気ではなくなるという事実である。

オミクロン変異種にかかった人々は、「非常に穏やかな」症状を呈し、これまで入院を必要とした人はいない

https://stateofthenation.co/?p=98792

にもかかわらず、New World Order グローバリスト陰謀団（cabal）は、オミクロンの恐怖を狂気のように言いふらしている。

恐怖宣伝主任のファウチは、アメリカを閉鎖するのにオミクロンを利用せよ、という厳命をまたしても与えられている。これは、これまでの、世界的に行われた、冬の間、地球惑星をロックダウンするための、多くの欺瞞的な計画の一つにすぎない。

このようにして、NWO ジェノサイド狂信者たちは、アンドルー・クオモ知事がニューヨーク州全体に、意図的に「老人ジェノサイド」計画を実行するのに用いた、あの同じ、医療大量殺人体制を用いるであろう。クオモが、全く破廉恥にも、性的ハラスメントの罪状で、職を下ろされた本当の理由は、そこにある。他の民主党知事で、全く同じ老人ジェノサイドを、それぞれの州で犯した者たちも、その便宜的な左遷によって、真実の露見から保護さる必要があった。

要するに：――Covid 集団殺人者たちは、またしても、できる限り多くの年配者たちや、多くの合併症をもつ人々を、除き去ろうとしている。そこには、多くの医療施設利用者、生活保護者、記憶障害ユニットや病院の患者たちが含まれ、**オミクロン**がその口実として利用されている。これらの人々は、「権力者」（The Powers That Be）たちが、何十年にも及んで、残忍な扱いを主張してきた「無用の徒食者たち」（useless eaters）である。権力エリートにとっては、何かを求めるこれらの人々は、金庫に空いた途方もない穴のようなもの――すべての国庫の抜け穴である。したがって彼らは、一刻も早くジェノサイドにかけなければならない。この地上には、「貴重な」財源を消費するだけの者を収容する余地はない――と、惑星的食物連鎖の頂点に生きている、略奪者 Davos（＝世界経済フォーラム）は言っている。

そこで、国際的な OMICRON の開放と、それに続く多様な Covid 変異種が一緒になって、WEF（世界経済フォーラム）のカマリラ（camarilla: 王や支配者を取り巻く廷臣）たちは、長年の計画であった GREAT RESET（偉大なリセット）を進展させようと、更に準備を進めている。

2022/2023 年タイム・フレームは、明かに、「グレイト・リセット」というメイン・イベントに特定された期間である。したがって OMICRON は、おそらく、このパンデミックの過去最悪の時期として、大きく誤って宣伝されるだろう！

実際、いくつかの高度に意味の大きいシンクロニシティが、特に 2022 年を通じて、浮かび上がっており、これは**「2022：あらゆるものの統制された解体」**にほかならぬものを予兆している。https://stateofthenation.co/?p=75719

> **キーポイント**：グローバルな Covid ワクチン体制を、毎年管理するということは、ジョージ・オーウエルの「1984」式の New World Order を創り出すのに、絶対必要なことである。その目的に向けて、グローバリストたちは、ますます攻撃的に OMICRON 恐怖を利用し、あらゆる人間がワクチンを達成するように、強制し、なだめすかし、騙すであろう。それはたとえ「極めて穏やかな」変異種であっても、世界中の政府が、この完全に作られた、根拠のないパニックを、新しい、これまでより苛酷なワクチン命令を励行させるために、利用するであろう。この恐怖宣伝屋の増大する宣伝を、北半球の冬を通して監視すべきである。

結論：

上に説明した、注意深いタイミングによる OMICRON の、クリスマス・シーズンの動きは、すべて危険なほどに確かであるが、ひとつ否定できない隠れた動機がある。

Covid 犯罪の首謀者たちは、すでにあらゆる線を越えてしまった（そして遠くにまで行ってしまった）。彼らの極めて鉄面皮な、完全に向こう見ずな、恥知らずの自暴的な計画――この惑星のあらゆる人間を、明白に毒性のある、致死的な Covid「ワクチン」によって注射する計画――は、彼らをリングのコーナーに追い込んでしまった。**そこから逃れるすべはない！**

言い換えると、NWO 陰謀団と、彼らの Covid 犯罪の共犯者たちは、彼らの残りの人生の間、きわめて深刻な「生きるか死ぬか」の境遇に立たされている。彼らは、人類に対する絶え間ない生物戦争の間に、殺されなかったあらゆる人々を、永遠にロックダウンするか――それとも、この地上のあらゆる人間の怒りに直面するか、どちらかを選ぶしかない。

ただ多くの人々は、それを言ったり書いたりすらしていない：

「彼らすべては――生きたまま――インターネット上で絞首刑にされなければならない！」https://stateofthenation.co/?p=98095

［訳者 Greatchain より］

まず――あることが危険かもしれないとわかっていながら、それを繰り返し国民に奨める政府は犯罪者である。また、ある外国政府の行動が、明かに犯罪的であるにもかかわらず、それを当然のように論ずる政府も、犯罪者と言ってよい。

なお、一つここには、訳者の私が個人的に体験したことが書かれている。それは、３頁下段の「老人が狙われている」という指摘で、権力エリートは、病弱で故障をもつ老人を、早急に処分したがっていると言っているが、これは本当のようである。前にもこのサイトで取り上げたので詳しくは言わないが、私はほぼ２年前に、ある記憶障害の病気をしたが、これは自己診断で「せん妄」（delirium）だったと今ではわかっている。私は病状に関係するある不思議なこと（壁に現れる文字）から、この病院全体が、医療倫理など必要がないと主張する側と、それに反対する側が２つに分かれて争っていることを知った。そのことを知った後者の側の看護師さんたちが、私をひそかに応援してくれたおかげで、私は「廃人」として処置されずに済んだと考えている。

医療倫理を否定する過激派の人々は、今から思えば、ファウチやゲイツに代表される、「役立たずの徒食者」を敵視する権力エリート一派に、組み込まれていたことがわかる（当時まだ、Covid は出ていなかった）。このことから、なぜ一時期、65 歳以上が、あたかも敬老精神によるかのように、ワクチン接種を優先されたかがわかってきた。これは敬老とは真逆のものだった。

また付言すれば、Covid-19 はパンデミックではないと主張する論文は、サイト Global Research に特に多い。例：**「フェイク科学、根拠のないデータ：〈確認された Covid-19 患者〉などというものはない――パンデミックは存在しない」**
https://www.globalresearch.ca/fake-science-invalid-data-there-is-no-such-thing-as-a-confirmed-covid-19-case-there-is-no-pandemic/5761960

前ファイザー社長のマイケル・イードン博士は、「変異種（株）と言えるほどのものは存在しない、だから私は variant でなく samiant と呼んでいる」と言っており、https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210413.pdf SOTN も言うように、猛威を振

るった伝染病が、時間とともに弱まりこそすれ、ますます凶暴になったりはしないであろう。しかし上の論文は、それよりもっと根本的な間違いを指摘しているようである。

しかし今、ファウチはどう言っているか？　彼は「ワクチンが効かないのは、それを 2 度でやめるからだ。3 度目のブースターをやれば効く」と言っている。それだけの計画と自信があるからであろう !!